



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

2010年 わが町10大ニュース

災害時支援制度の説明会開催(8月)

自治連は22日、町内会長らを対象に、市が推進している災害時要援護者支援制度の説明会を市民センターで開催。対象者の把握、登録への協力を要請した。

町内全公園で飼い犬立ち入り禁止に(2月)

若草各町内会は地区内7公園・児童遊園の全てで公園内に飼い犬を連れて入ることを禁止した。マナーを守らない飼い主に業を煮やした措置。

社協が住民福祉活動計画策定(7月)

志津南地区社会福祉協議会は7月、一年間かけてまとめた「志津南地区住民福祉活動計画」を発表。「老いても楽しく健康に」などの指針を盛り込んでいる。

木炭窯遺跡は23年度中に撤去で合意(2月)

市民センター前の木炭窯(野路遺跡出土)の撤去、跡地利用で市と地元が6日、23年度中に撤去することに合意。跡地利用は引き続き協議することに。

市民センター、日祝日休館に(4月)

市が日祝日の諸証明発行業務を停止したことを受け、同センターも同業務を廃止するのに伴い、1日から日曜・祝日は休館となった。

自主防災会が子ども会と初の合同消火訓練(9月)

自主防災会は25日、初の試みとして子ども会と合同で防災消火訓練を実施。パケツリレーや標的消火など新メニューを盛り込んでイベント化を図った。

調整池のしゅんせつ工事完了(10月)

8月から開始された調整池のしゅんせつ工事が中旬に完了。面積1.5%の池に堆積した30年分の土砂約5500t、大型ダンプ約1200台分を除去した。

ふれあい夏まつりに4000人(7月)

第13回志津南ふれあい夏まつりが25日、若草中央児童公園を会場に繰り広げられた。昨年とほぼ同じ約4000人が参加、数々のイベントを堪能した。絵本読み聞かせの「ぼっかばか」に市PTA表彰(2月)

10年以上にわたる志津南小で絵本の読み聞かせ活動が評価されたお母さんグループ「ぼっかばか」が13日、アミカホールで市PTA表彰を受けた。

自治連22年度会長に粕谷氏(3月)

28日に行われた22年度自治連総会で会長に粕谷利光さん(7丁目)を選出。総会では規約を改正、副会長2人制とした。

福祉委員会報告

来年4月から本格活動

地域の福祉力向上をめざす

社会福祉協議会(小野栄佑会長)は「地域の福祉力」を高め、地域を安心して暮らすための取り組みの一つとして、10



月にスタートさせた福祉委員制度を4月から本格的に稼働させることになっています。少子高齢化が進み、日常生活に不安を感じる方が増えるものと予測されます。同じ地域に住む一人ひとりが「いすれ自分の問題である」として、自分のできる範囲で「ふれあい・おまわり」を行う

ことが、大事に取り組むことになってきました。社協はこのような活動の輪を広げていくことを目的に、各町内に複数の福祉委員を置くことになりました。福祉委員は「近所の方やうちと気になる方や高齢の方たちの日常の見守りやふれあいをこころで行うもので、支援や援護の活動は民生委員や社会福祉協議会

今年4月には、福祉委員制度の趣旨に賛同された数名の「福祉委員」が誕生し、第一歩を踏み出しました。今回発足した福祉委員制度は、各町内に3名程度以上出れば各町に1名程度の福祉委員を設けたいと考えています。

福祉委員の役割などの概要は、市民センターの年末年始休館(公民館)は、平成22年12月29日(水)から平成23年1月3日(月)まで休館します。

町内会など連携して取り組んでいきます。また、地域の行事などにも積極的に参加し、近所の方との繋がりを深め、いきいきとしたまちづくりを心がけます。

次の通りです。地域の福祉・T・S(児童・問題など)の把握
福祉・T・Sを抱えている人への見守り安全確認等
生まがいつくり、ふれあいサロンなどの活動
民生委員児童委員など福祉関係者への連絡と協働
社会福祉事業への協力
なごとながっています。

市民センターの 年末年始休館

志津南市民センター(公民館)は、平成22年12月29日(水)から平成23年1月3日(月)まで休館します。

左巻長は1月15日に

志津南地区自治連合会が、恒例の左巻長を平成23年1月15日(土)午前9時から11時まで若草中央児童公園で行います。

お正月のお飾りや、お焚き火など、お正月の準備のなごを焼きます。ぜひご参加ください。

ただ、お飾りのみかんとビニール袋、一般ごみなどは持ち込まないようお願いいたします。

南つ子、ロクハ公園で自然観察

「わんぱくプラザ南つ子」が11月13日、「ロクハ公園のひみつ」をテーマに、自然観察を通じて、環境について考えてみました。午前中は子どもたちが2



木の葉や小枝でクリスマス飾りをつくる南つ子

人一組になり、探してきた葉っぱで「きんぎょのたかさついたら葉っぱ」「赤の濃い葉っぱ」「大きな葉っぱ」「葉っぱしゃんけんをしたり、ロクハ公園の小道にあらがじめ」「はさみ」「ペットボトル」などをかくしておいで、自然にはそぐわないものを採り出し、自然を大切にすゝめ持ち帰りました。次に講師が樹木の音を聴いて、「ザア」と音がする」と樹木の生命の音感動しました。

午後からは、思い思いの葉っぱや木の葉、小枝で想像力をふくらませながら、動物やクリスマス飾り作り、子どもたちがみなでひとつの作品作りに取り組み、素敵なお出来上がりしました。作例は、市民センターのサロンに展示していますので、ご覧ください。

デジカメの撮り方変わった。

志津南市民センター（公民館）は11月4日、11日、18日、25日の4回、山元國一さんを講師にENJOY・MY・LIFE「デジカメ講座」『イキナ写真撮ってみませんか』と題して、教養文化講座を開催。9人が受講しました。写真の普段何気なく撮っているデジカメの基本や使い方を学び、2回目には、びわこ文化公園で撮影実技。受講生は講師のアドバイスを聞きながら思い思いに写真を撮りました。



3回目には、受講生の写真と写真を全員で鑑賞しながら、講師がアドバイス、最後は講師はパソコンで画像編集し、作品を仕上げました。

受講生は「デジカメの撮り方、被写体の見方が変わった。デジカメ撮影が楽しくなった。今から撮影に行ってくる。」など、意欲的な声も。

できあがった写真は、今日開催されるミュージックソンの展示部門に出品し、志津南市民センターのサロンに展示されます。

「古今東西」全4回終了

市民センターの教養文化講座「古今東西」は11月10日の油日神社訪問で全4回の講座を終了しました。今年度は「湖国に暮らす・江戸参見」と題して4回実施。31人が受講しました。第1回は7月21日に草津の八ッ池畔生地と水倉酒蔵機構湖南管理所、芦浦観音を訪れ、猛暑の中琵琶湖で舟に乗り、ハスの花を間近で観賞しました。第2回は9月8日、観音の里長浜市高月町へ、歴史民俗資料館で渡岸寺の十一面観音も湖北の歴史文化、雨森万洲庵では名物館長さんから、まちづくりの奮闘ぶりを聞きました。

最終の第4回は11月10日に甲斐市の油日神社へ、白洲止子の「かくれ里」で脚燈を浴びた風景を満喫しました。また地場産業の産産を紹介するくすり学習館では食べられる丸薬作りを体験しました。

市民センターにクリスマスツリー

志津南市民センター（公民館）サロンにクリスマスツリーが写真がお目見えしました。やすらぎ学級生が11月の講座の後に飾り付けました。クリスマスムードいっぱい、みなさんをお迎えします。



- 12月18日（土）健康ウォーキング 8：45 若草中央公園集合
- 12月25日（土）社会奉仕 8：30 若草中央公園集合
- 1月5日（水）子ども会書初め大会 9：00～12：00 子ども会書初め展示会 5日～22日 15：00まで
- 1月7日（金）ふれあい昼食会 12：00～13：00 ボランティア「泉」
- 1月8日・15日（土）健康ウォーキング 8：45 若草中央公園集合
- 1月15日（土）左義長 9：00～11：00 若草中央児童公園
- 毎週金曜日 ふれあい喫茶（お茶の間） 10：00～12：00 若草第五集会所

印の場所は志津南市民センター（公民館）です



油日神社で説明を聞く参加者

アマチカド

りょうぶの道

若草のはずれから始まる遊歩道で、一歩ばかり上り下りすると牟礼山に至る。途中で見かけたサル



スベリに似たりヨウブの木が多いところから、そう名付けられたと聞く。すぐに鬱蒼とした雑木林に入る。昼なお暗き道は落ち葉を踏む足音だけの静寂。気分転換にもってこいの散歩道である。

ゴルフ大会に70人



志津南地区社会福祉協議会主催の恒例のクラウンドゴルフ大会が11月13日、若草中央児童公園で行われました。写真
当日は役員を各県の過半を最高の70人が参加、今までにない盛大な大会となりました。
小野会長の開会のあいさつに

続き、競技ルールの説明のあと13組に分かれ、競技開始。黄砂の影響も少しあったが、たが、公園の真つ赤な紅葉に曲まれたクラウンドに歓声、悲鳴が入り乱れ、熱戦を展開しました。
成績は次の通りです。
団体戦
優勝 4チーム
一位 6チーム

二位 30日
個人戦
優勝 篠山良治 (20日)
一位 松原繁男 (60日)

健推が健康ウォーキング実施



三位 牧 大作 (60日)
四位 甲 優 (50日)
五位 木村信子 (80日)

参加者から「いつも車を利用するの歩けるのがどうか不安だからどワイワイ話しながら歩出来て自信ができました」と歩く楽しさを美談した声も聞かれました。帰路は立寄館大寺経由で市民センターに。当日の歩数は1万7千歩余を記録しました。

志津南地区健康推進員連絡協議会(蟹江久美子代表)は11月9日、「秋の健康ウォーキング」を実施しました。写真
参加者22人は午前10時、びわく文化公園を自指し市民センターを出発
秋色に染まる木々を楽しみながら青山・松ヶ丘を經由、約1時間余でびわく文化公園に到着。芝生広場の協議会が用意したおにぎり、おやつを味わいながら和やかなひと時を過ごしました。その後、「夕照庵」で秋陽に映える紅葉、池を眺めながらお抹茶で一服、ゆったりくつろぎました。



生活習慣病予防の料理教室
また11月19日には市民センターで管理栄養士の山本陽子さんによる「生活習慣病予防のための料理教室」を開催しました。写真、男性を含む参加者12人は「メタボリックシンドロームの予防と改善」の講義の後

11月26日、公民館で自主教室や各種団体など利用者による一斉清掃が行われ、館の内外がきれいになりました。
清掃のあと、給湯室で火事を想定した避難訓練と、南消防署員の指導により水消火器やAEDの使い方を学びました。写真
訓練に参加し、AEDを体験した参加者は「少しはAEDのことわかった」と、命と救命救急の大切さを確認しました。同日、見かけるAED。いざという時に、使えないと、設置場所を確認していきましょう。



市民センターでAEDの使い方学ぶ

「豆腐入りハンバーグ、キノコあん」「ひじきと大豆のま酢和え」など4品を作りました。なお、来年1月29日には男性の料理教室を予定しています。多数の参加お待ちします。